

“幼青老の共生”を目指して…

ウチヤマグループの理念と哲学の実践型経営

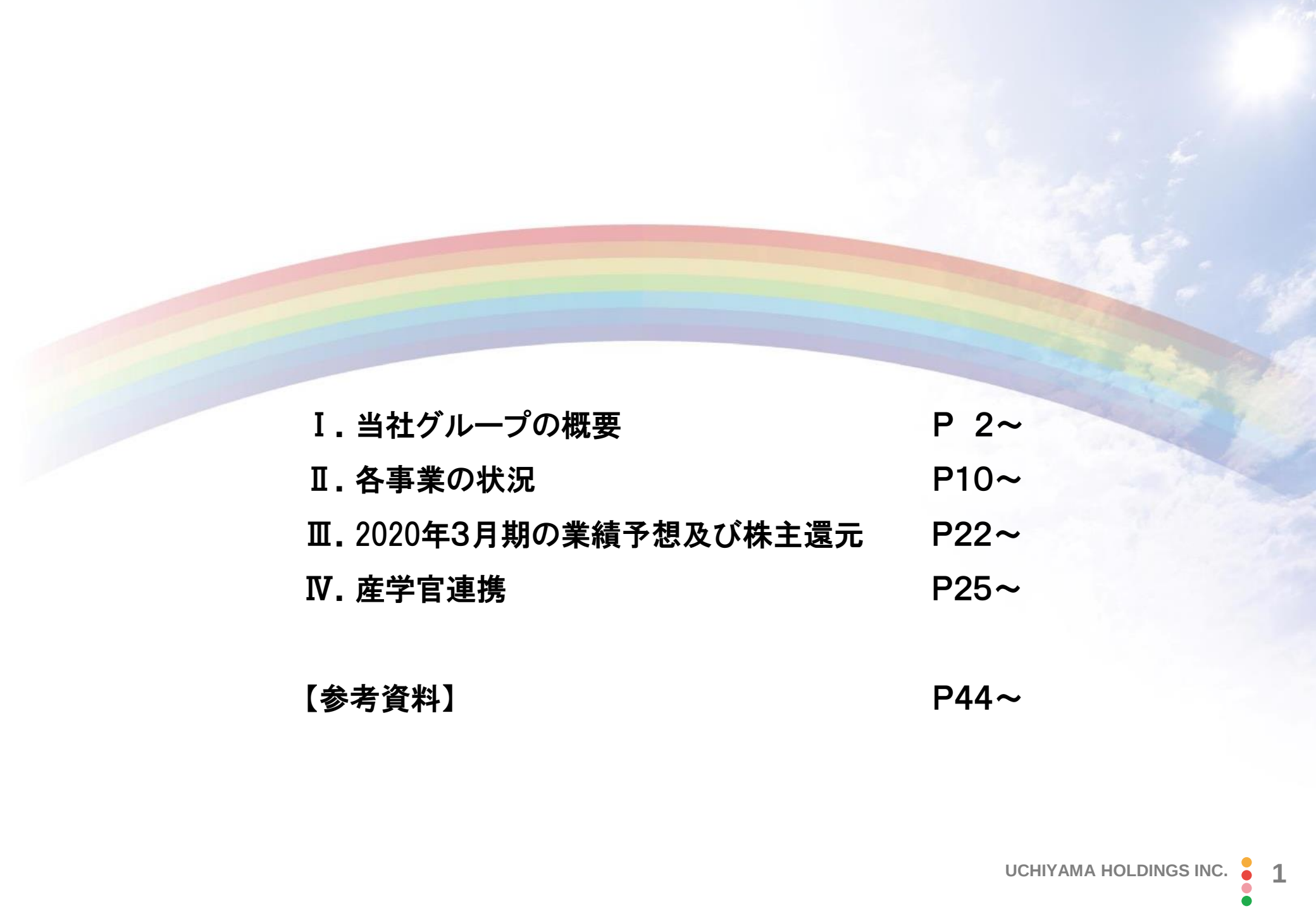
2019年12月



ウチヤマホールディングス
UCHIYAMA HOLDINGS

東証1部 証券コード 6059





I. 当社グループの概要	P 2～
II. 各事業の状況	P10～
III. 2020年3月期の業績予想及び株主還元	P22～
IV. 産学官連携	P25～
【参考資料】	P44～



I．当社グループの概要

1. プロフィール

社名	株式会社ウチヤマホールディングス
本社	福岡県北九州市小倉北区熊本2-10-10
設立	2006年10月（前身は1971年6月）
代表者	代表取締役社長 内山 文治
連結従業員数	正社員2,157名、パート・アルバイト等2,433名 合計4,590名（2019年9月末）
事業内容	● 介護事業 ● カラオケ事業 ● 飲食事業 ● 不動産事業 ● その他（ホテル）

2. 当社グループの歩み

Further growth: 上場(2012～)

- 2012年4月 大阪証券取引所(現 東京証券取引所) JASDAQ市場(スタンダード)に株式を上場
- 2013年12月 東京証券取引所市場第2部へ市場変更
- 2014年9月 東京証券取引所市場第1部指定

Constitution: ウチヤマホールディングス設立(2006～)

- 2006年10月 福岡県北九州市小倉北区に株式移転により株式会社さわやか倶楽部、株式会社ボナーの持株会社として株式会社ウチヤマホールディングスを設立

2006

介護事業スタート(2003～)

- 2003年4月 介護付有料老人ホーム及びデイサービスの併設施設『さわやかパークサイド新川』を福岡県北九州市戸畑区に開所
- 2004年12月 介護部門を新設分割し、福岡県北九州市小倉南区に株式会社さわやか倶楽部を設立
- 2015年11月 障がい児通所支援事業 放課後等デイサービス「さわやか愛の家」を開所
- 2018年7月 インドネシアに職業訓練校を設立

2003



さわやかパークサイド新川



内山第1ビル

1995

飲食事業スタート(1995～)

- 1995年11月 福岡県北九州市小倉北区に飲食事業1号店の居酒屋『酒膳房然』を開店
- 2014年11月 タイ1号店「かんできやスクンビット店」オープン

1991

カラオケ事業スタート(1991～)

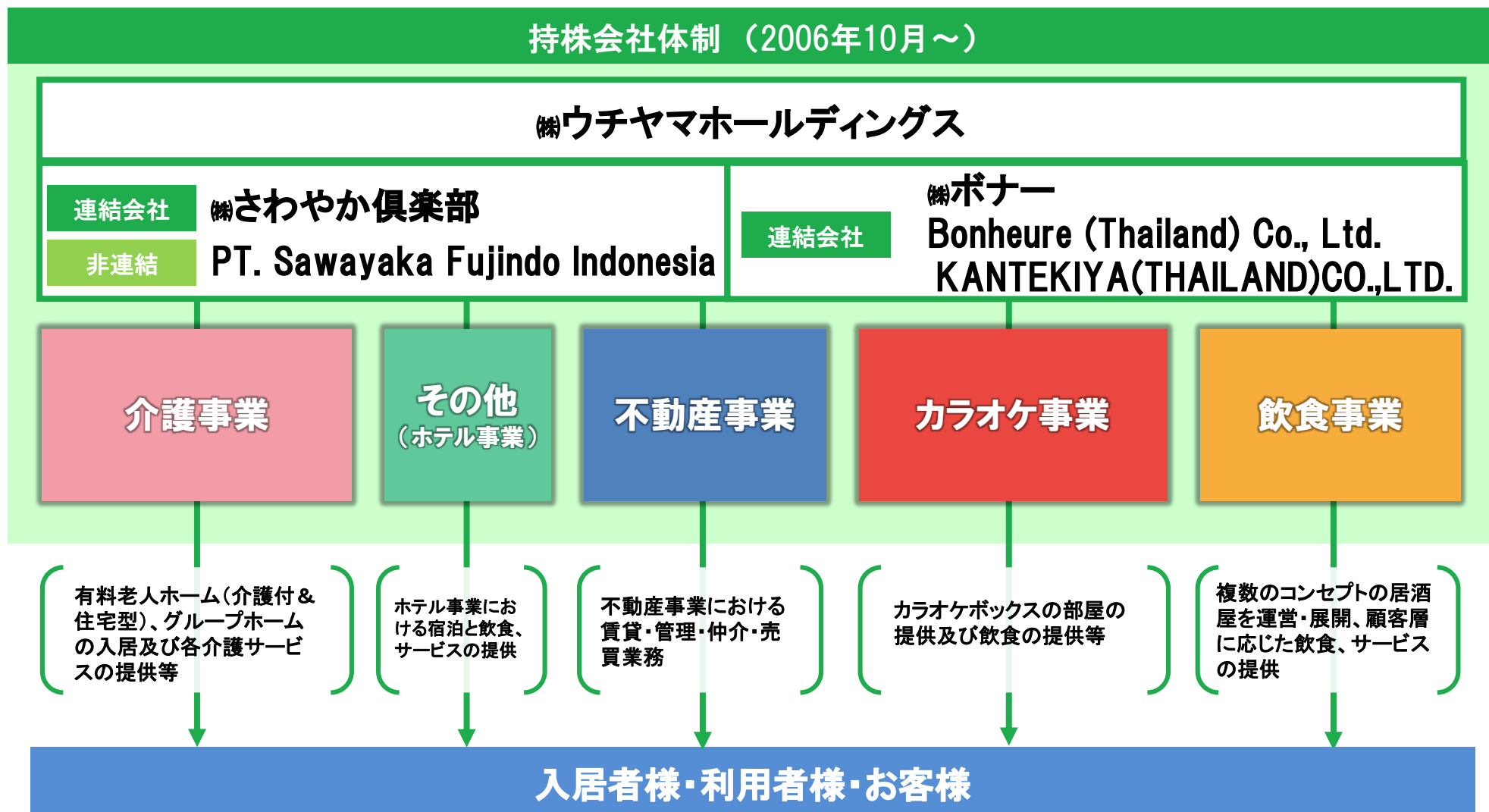
- 1991年4月 福岡県北九州市八幡西区にカラオケボックス1号店『コロッケ倶楽部黒崎店』を開店

1971

Foundation: 不動産事業の開始(1971～)

- 1971年6月 不動産の販売、賃貸管理を目的として福岡県北九州市小倉北区に内山ビル株式会社を設立

3. 当社グループの概要



※1 Bonheure (Thailand) Co., Ltd及びKANTEKIYA(THAILAND)CO.,LTDは、タイにおける合併会社であり連結会社。

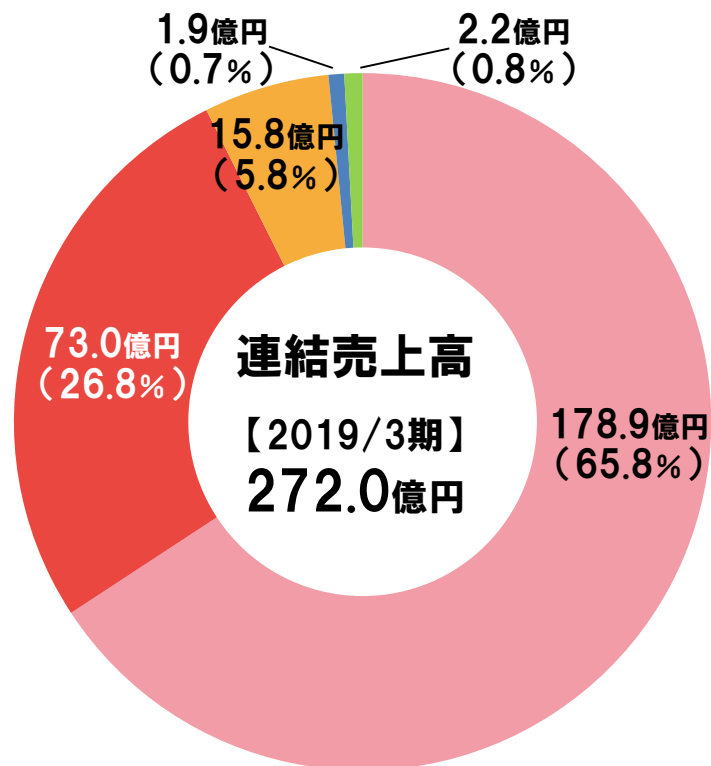
※2 PT. Sawayaka Fujindo Indonesiaは㈱さわやか倶楽部出資（60%）のインドネシアにおける合併会社であり非連結。

4. 収益構造

介護事業とカラオケ事業が収益力の両輪

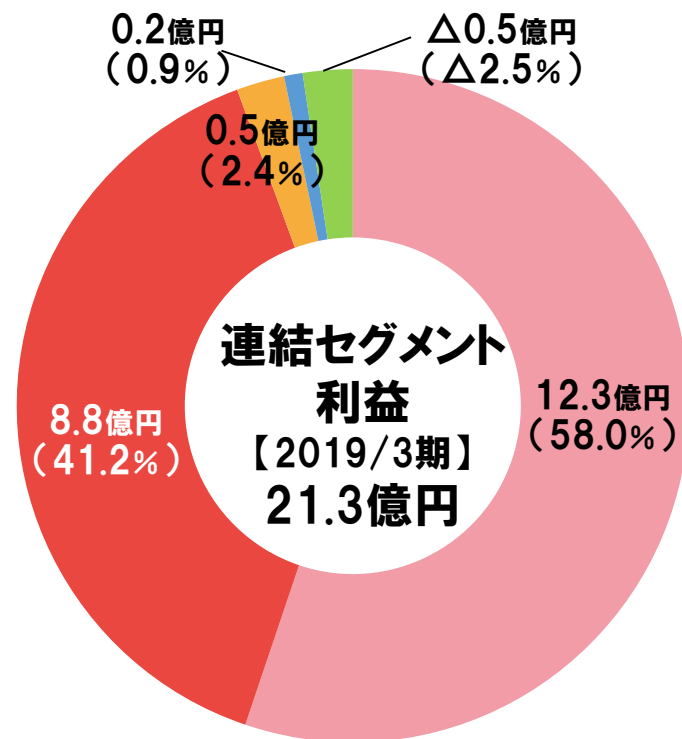
セグメント別売上構成

■ 介護事業 ■ カラオケ事業 ■ 飲食事業 ■ 不動産事業 ■ その他



セグメント別利益構成

■ 介護事業 ■ カラオケ事業 ■ 飲食事業 ■ 不動産事業 ■ その他



(注) 各セグメント利益は本社経費等賦活前であり、連結営業利益は10.2億円

●●●▶ 5. 経営理念と哲学

ウチヤマグループ 基本理念

慈愛の心
尊厳を守る
お客様第一主義

ウチヤマグループ スローガン

幼青老の共生

幼年～青年～老年、共に楽しく過ごせる
社会作りを目指します。

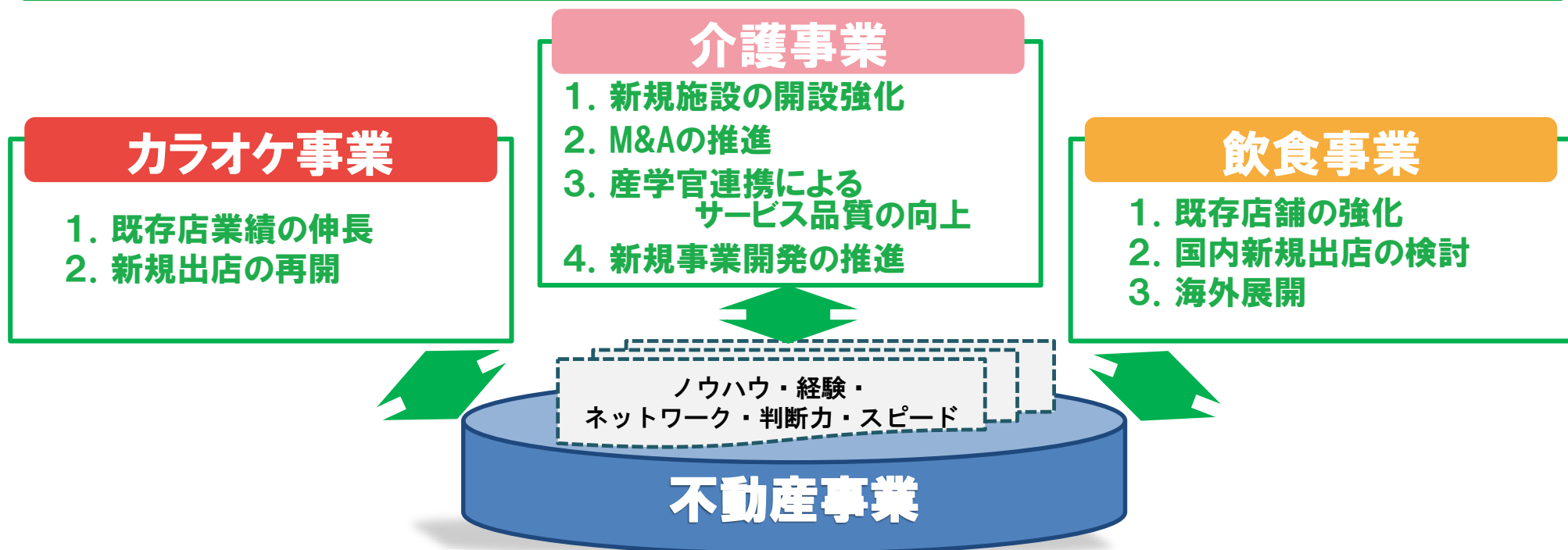
「日本一の接遇とオペレーション」
を目指す

～Give and Give～

「理念と哲学の実践型経営」を推進することで、
継続的な企業価値の向上と社会への貢献をはかる

6. 経営方針 戦略基本方針

主要事業のバランスを重視した成長戦略の推進



【3事業と不動産のシナジー】

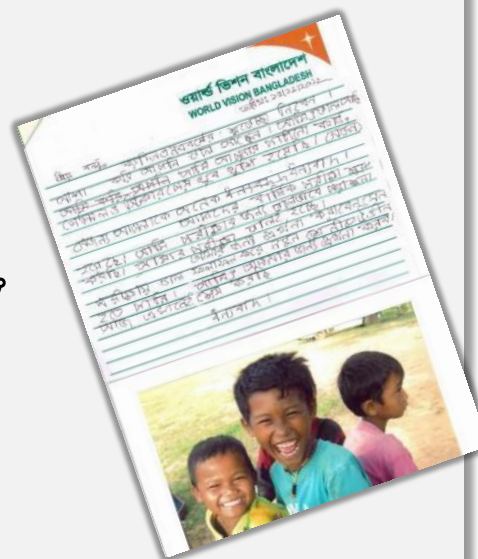
- (1) 好立地の物件情報を迅速に入手できる
- (2) 物件の良し悪しを即座に判断できる
- (3) 施設や店舗を低コストにて出店できる

6. 社会貢献

常に「社会貢献」を重視した経営を推進

- 地震被災者の施設での受入れ
(福岡西方沖地震、東日本大震災、熊本地震、大阪北部地震(受入れ表明))
- 集中豪雨被災者の施設での受入れ
(九州北部豪雨、秋田豪雨、2018年7月豪雨)
- 世界の子どもたちの支援
(チャイルドスポンサーシップ、ラオスでの小学校建設)
- NPO法人テラ・ルネッサンスとのタイアップ
(アフリカの元子供兵の社会復帰活動支援)
- ホームレスへの炊き出し
- 「ウチャマ子ども食堂」をオープン
- 著名人による特別講演会の主催
(1999年より過去27回実施)

⇒河野景子氏(2019年)、養老孟司氏(2018年)、櫻井よしこ氏(2017年・2014年)、
渡部昇一氏(2016年)、金美齢氏(2015年)、茂木健一郎氏(2013年)、
安倍晋三氏(2012年)、五木寛之氏(2011年)、鎌田實氏、日野原重明氏など



子供たちからの手紙



福岡西方沖地震被災者の施設受入



ラオスでの小学校建設



ウチャマ子ども食堂



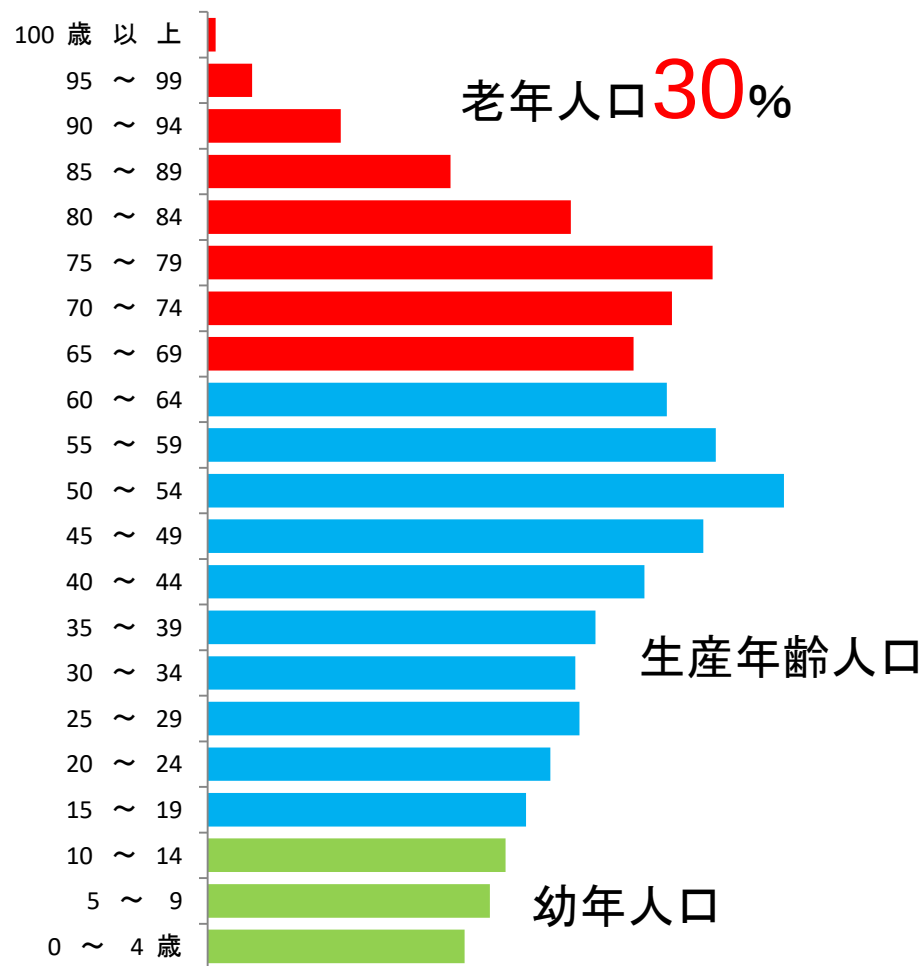
特別講演会の主催
UCHIYAMA HOLDINGS INC.



Ⅱ．各事業の状況

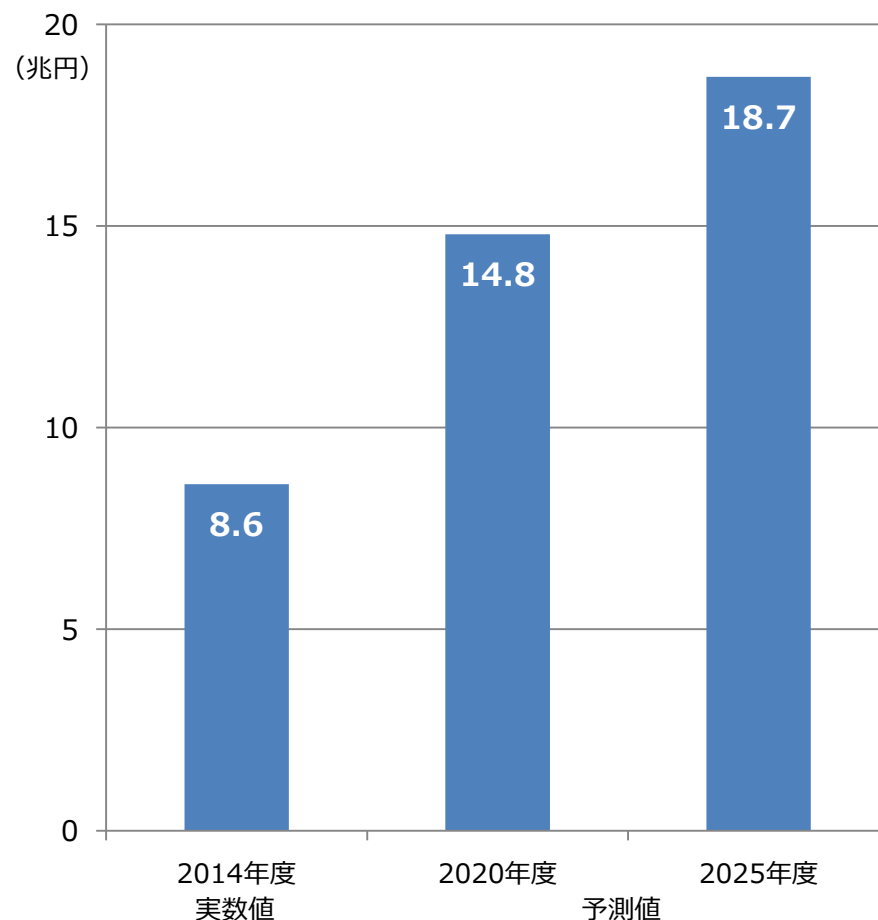
1. 介護事業 ①事業環境

将来推計人口(2025年)



国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」

国内介護市場規模予測



1. 介護事業 ②展開状況

展開状況（2019年11月末現在）

	事業所数
特定施設	56
住宅型有料老人ホーム	15
ショートステイ	33
グループホーム	14
デイサービス	19
障がい児通所支援事業	19
その他	25
合計	181



介護事業

103カ所

181事業所

北海道・東北エリア

6カ所

10事業所

中部・北陸エリア

10カ所

18事業所

中国・四国エリア

7カ所

12事業所

九州・沖縄エリア

53カ所

104事業所

関東エリア

18カ所

23事業所

関西エリア

9カ所

14事業所

1. 介護事業 ③生きがいがづくり

高齢者を高齢者として扱うのではなく、「**生きがいがづくり**」をポイントに
「**入居者様・お客様が主役**」の考え方に立ち
入居者様が積極的に運営やイベントに参加するスタイルを追求



活力朝礼



毎月のお誕生日会



ハンドベル演奏会



笑顔コンテスト



見学者のご案内



栽培・収穫



盆栽教室



スナック もいちど

1. 介護事業 ④主な企業の業績

介護事業 主な企業の業績（2019年3月期）

（百万円）

	会社名	対象セグメント	売上高	営業利益
1	ニチイ学館	介護部門	151,426	16,383
2	SOMPOホールディングス	介護・ヘルスケア事業	127,405	△201
3	ベネッセホールディングス	介護・保育事業	116,999	11,396
4	ツクイ		86,349	4,125
5	ユニマット リタイヤメント・コミュニティ	介護事業	47,650	5,181
6	セントケア・ホールディングス		41,104	1,958
7	ALSOK	介護事業	26,599	272
8	ソラスト	介護事業	26,441	1,704
9	シップヘルスケアホールディングス	ライフケア事業	23,500	1,625
10	ウチヤマホールディングス	介護事業	17,894	1,238
11	シダー		14,258	494
12	ヒューマンホールディングス	介護事業	9,914	410

（出所） 各社決算短信より作成

1. 介護事業 ⑤有料老人ホーム

■ 運営棟数・室数(2018年9月末現在)

	会社名	棟数	室数
1	(株)ベネッセスタイルケア	312	16,952
2	SOMPOケア(株)	278	17,362
3	(株)ベストライフ	165	10,408
4	(株)ニチイ学館	142	8,629
5	H I T O W Aケアサービス(株)	107	6,605
6	(株)川島コーポレーション	106	—
7	(株)木下の介護	88	5,243
8	(株)さわやか倶楽部	69	4,599
9	グリーンライフ(株)	57	3,894
10	(株)チャーム・ケア・コーポレーション	47	3,297
11	(株)スーパー・コート	44	3,055
12	(株)ユニマット リタイアメント・コミュニティ	44	1,881

■ 過去1年開設棟数(2017年10月以降)

	会社名	棟数	室数
1	(株)さわやか倶楽部	10	557
2	(株)木下の介護	9	453
3	(株)チャーム・ケア・コーポレーション	8	506
4	(株)ベネッセスタイルケア	8	480
5	H I T O W Aケアサービス(株)	7	447
6	(株)はれコーポレーション	5	284
7	(株)長谷工シニアホールディングス	4	292
8	(株)ベストライフ	5	177
9	エフビー介護サービス(株)	3	57
10	ライクケアネクスト(株)	2	168
11	(株)クラーチ	2	134
12	トラストガーデン(株)	2	128
13	(株)ヴァティー	2	90

(出所) 月刊シニアビジネスマーケット 2018年11月より作成

1. 介護事業 ⑥戦略と強み

戦略 ①	戦略 ②	戦略 ③	戦略 ④
特定施設 の積極展開	グループホーム の展開	放課後等 デイサービスの展開	M & Aの 推進

介護付有料老人ホーム・グループホーム	2019年 7月開設	さわやか訪問看護ステーション別府 (大分県別府市)	訪問看護	—
	2019年 11月開設	さわやかながれやま館 (千葉県流山市)	介護付き有料老人ホーム (特定施設)	71床
	2020年 2月開設予定	さわやかしらおか館 (埼玉県白岡市)	介護付き有料老人ホーム (特定施設)	55床
	2020年 5月開設予定	さわやかさくらのもり館 (秋田県秋田市)	介護付き有料老人ホーム (特定施設)	50床
	2020年 5月開設予定	さわやか神戸西館 (兵庫県神戸市)	介護付き有料老人ホーム (特定施設)	80床
	2021年 1月開設予定	さわやか室蘭武番館 (北海道室蘭市)	介護付き有料老人ホーム (特定施設)	50床
	2021年 3月開設予定	さわやか福島黒岩館 (福島県福島市)	介護付き有料老人ホーム (特定施設) ショートステイ	50床 11床
	未定	さわやか深谷館 (埼玉県深谷市)	介護付き有料老人ホーム (特定施設)	50床
	未定	さわやか明石二見館 (兵庫県明石市)	介護付き有料老人ホーム (特定施設)	50床

リーズナブルな価格設定

●入居一時金 = 0円

●月額基本料金(居室料+食費+管理費) 約141,000円(※1)

高いオペレーション効率

【看護・介護職員1人当たり利用者数】

●当社 2.5~2.7人

●特定施設事業者平均(※2) 2.0人

堅調な入居率

●既存施設(2019年3月期平均) 95.7%

●既存施設(2018年3月期平均) 94.6%

※1 2016年以降開設の有料老人ホーム15施設の平均

※2 (出所)厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査(平成27年)」

1. 介護事業 ⑦関東圏内の施設

<<埼玉県5カ所>>



さわやかおおみや館

さわやかいわつき館

◆介護付有料老人ホーム
埼玉県さいたま市岩槻区
加倉4丁目21番30号
TEL:048-790-2800

さわやかおおみや館

◆介護付有料老人ホーム
埼玉県さいたま市西区内野
本郷1082-1
TEL:048-788-2499

さわやかひだか館

◆介護付有料老人ホーム
埼玉県日高市高萩1112番地2
TEL:042-984-0160

さわやかくまがや館

◆介護付有料老人ホーム
埼玉県熊谷市石原1696番地8
TEL:048-599-1080

さわやかそう花の里

◆介護付有料老人ホーム
埼玉県草加市原町3丁目8番27号
TEL:048-946-1886

<<神奈川県1カ所>>



さわやかさがみはら館

◆介護付有料老人ホーム
神奈川県相模原市緑区
相原2丁目22-18
TEL:042-700-0752

<<栃木県6カ所>>



さわやかすずめのみや

さわやかすずめのみや

◆介護付有料老人ホーム
◆ショートステイ
栃木県宇都宮市
若松原2丁目18番26号
TEL:028-688-3337

さわやかかぬま館

◆介護付有料老人ホーム
栃木県鹿沼市寺町914番1
TEL:0289-77-7400

さわやかなすしおばら館

◆介護付有料老人ホーム
栃木県那須塩原市西朝日町
3番4号
TEL:0287-48-7155

さわやかさの館

◆介護付有料老人ホーム
栃木県佐野市堀米町3261-1
TEL:0283-25-8666

さわやかグループホームなすまち

◆グループホーム
栃木県那須郡那須町
大字寺子乙3967番21
TEL:0287-73-5223

さわやかグループホームなすしおばら

◆グループホーム
栃木県那須塩原市新南37番2
TEL:0287-47-5192

<<千葉県6カ所>>



さわやか柏館

さわやか柏館

◆介護付有料老人ホーム
千葉県柏市南逆井2丁目
14番41号
TEL:04-7171-1400

さわやかあびこ館

◆介護付有料老人ホーム
千葉県我孫子市
下ヶ戸190-6
TEL:04-7179-7721

さわやかゆう輝の里

◆介護付有料老人ホーム
◆ショートステイ
千葉県千葉市中央区川戸町254-1
TEL:043-305-1233

さわやかながれやま館

◆介護付有料老人ホーム
千葉県流山市西初石1丁目742番
TEL:04-7170-2438

さわやかグループホームはなみずき

◆グループホーム
千葉県千葉市緑区越智町822-63
TEL:043-295-8730

さわやか成田館

◆介護付有料老人ホーム
千葉県成田市並木町142-28
TEL:0476-20-0025

2019年12月現在

関東圏内の事業所数

介護付 有料老人ホーム	15
ショートステイ	2
グループホーム	3
合計	20

1. 介護事業 ⑧さわやか愛の家

■介護事業における新規事業の推進

障がい児通所支援事業 放課後等デイサービス 「さわやか愛の家」

- 障がいのある子どもたち（6～18歳）に対し、放課後や長期休暇中において療育の場を提供
⇒ 日常生活動作の指導、集団生活への適応訓練等
- レスパイトケア：ご家族に代わり一時的にケアを代替することで、日々の疲れ等をリフレッシュしていただく家族支援サービス



地域の潜在ニーズにお応えし
放課後等デイサービスを積極的に展開



「さわやか愛の家 おかざき館」
（2018年5月1日開設）



「さわやか愛の家 しものせき館」
（2018年5月1日開設）



「さわやか愛の家 さくら館」
（2018年6月1日開設）

2019年3月現在
19事業所
（生活介護・相談室含む）



2. カラオケ事業 ①展開状況

基本的な特長

- 1店舗当たりのボックス数は30室程度
- カラオケは常に最新機種を装備
- 明るい雰囲気、安心感、安全性
- 豊富な食事メニュー
- シニア層向けの割引サービスを実施

高齢者向けのサービスを更に拡充

- さわやかゴールドメンバーカード

(65才以上のシニア層を対象にプレミアム特典付きのカードを発行)

ゴールドカード **新規発行**

税込 **無料**

再発行 **¥200**

100円つき1ポイント付与
1ポイント1円として割引
最大3000ポイント使用可能!



一般会員カード **新規発行**

税込 **¥200**

再発行 **¥200**

100円つき1ポイント付与
1ポイント1円として割引
最大3000ポイント使用可能!



アプリ会員 **新規発行**

税込 **無料**

再発行 **無料**

100円つき1ポイント付与
1ポイント1円として割引
最大3000ポイント使用可能!



カラオケ事業の展開状況 合計90店舗 (2019年11月末現在)



2. カラオケ事業 ②主な企業の業績

カラオケ・飲食事業 主な企業の業績

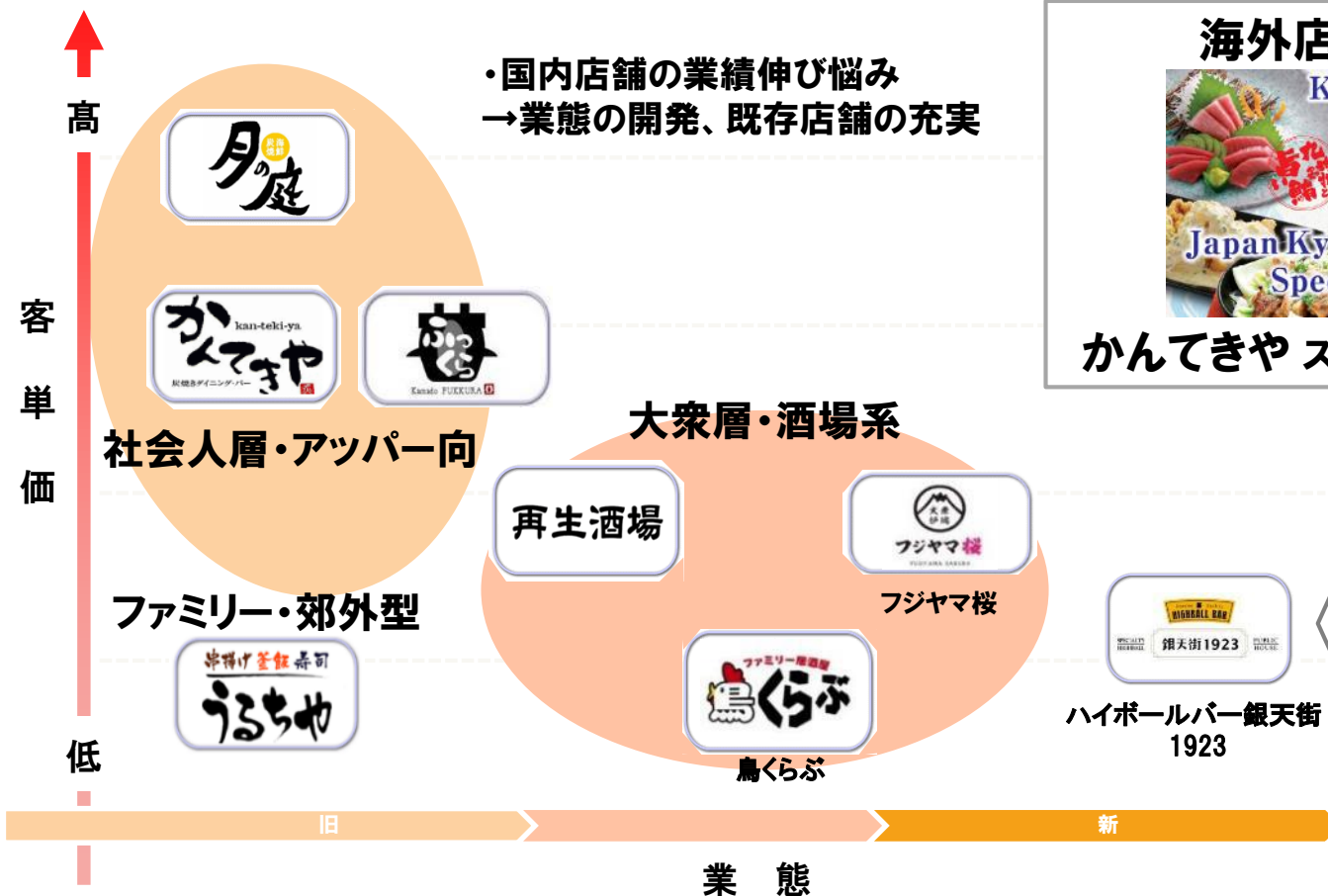
(百万円)

	会社名	対象セグメント	ブランド名	売上高
1	第一興商	カラオケ・飲食店舗	ビッグエコー	63,799
2	コシダカホールディングス	カラオケ	まねきねこ	29,614
3	ビーアンドビー	カラオケ、ネットカフェ	カラオケ館	29,000
4	東愛産業		ジャンボカラオケ広場	25,356
5	シン・コーポレーション		カラオケバンバン	21,892
6	シダックス	レストラン、カラオケ	シダックス	17,032
7	ヴァイリック（A O K I ホールディングス）	カラオケルーム運営	コート・ダジュール	14,077
8	クリアックス		歌広場	9,453
9	ウチヤマホールディングス	カラオケ、飲食	コロッケ倶楽部	9,385
10	鉄人化計画	カラオケルーム運営	カラオケの鉄人	7,467

(出所) 各社決算短信、東京商工リサーチより作成(ニュートンは部門別不明のため除外)

3. 飲食事業 展開状況

飲食事業の展開状況 合計18店舗（2019年11月末現在）（国内16店舗、海外2店舗）



海外店舗（タイ2店舗）



かんてきや スクンビット店・ブロンポン店

新業態の開発

「ハイボール専門店」



ハイボールバー 銀天街 1923



Ⅲ. 2020年3月期の業績予想及び株主還元

1. 2020年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)		前期(2019/3)		通期予想(2020/3)		前期比	
		金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	率(%)
売上高		27,209	100.0	30,873	100.0	3,664	13.5
営業利益		1,025	3.8	1,909	4.7	884	86.2
経常利益		1,326	4.9	1,899	4.9	573	43.2
親会社株主に帰属する当期純利益		1,102	4.1	1,244	2.9	142	12.9
1株当たり純利益(円)		57.02	-	64.38	-	7.36	-
1株当たり配当金(円)		10	-	10	-	0	-
介護事業	売上高	17,894	100.0	19,245	100.0	1,351	7.6
	利益	1,238	6.9	1,637	8.5	398	32.2
カラオケ事業	売上高	7,302	100.0	7,259	100.0	△42	△0.6
	利益	880	12.1	874	12.0	△6	△0.7
飲食事業	売上高	1,586	100.0	1,504	100.0	△81	△5.2
	利益	51	3.3	91	6.1	39	76.6
不動産事業	売上高	197	100.0	2,614	100.0	2,417	1,224.0
	利益	20	10.2	445	17.0	425	2,121.5

予想の前提条件

介護事業

新規開設
4カ所4事業所、256床
期末施設数
106カ所5,767床

カラオケ事業

新規出店 1店舗
退店 3店舗
期末店舗数 89店舗

飲食事業

業態変更 1店舗
退店 1店舗
期末店舗数 19店舗
(国内17店舗、タイ2店舗)

不動産事業

販売用不動産売却による増収
2,459百万円
販売用不動産売却による増益
400百万円
(営業利益)

2. 株主還元

配当金について

	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (予想)
第2四半期末	5円	5円	5円	5円
期 末	5円	5円	5円	5円
合 計	10円	10円	10円	10円
連結配当性向	322.9%	23.9%	21.9%	21.7%

株主優待について

ご対象株主様	ご所有株式数	ご優待内容
毎年3月31日の株主様	400株以上	お米券 5kg分 (1kg券×5枚)



Ⅲ. 産学官連携

1. 産学官連携の概要

	口腔ケア	生きがいきづくり	IT技術の活用
産	ウチヤマホールディングス		
学	(公大) 九州歯科大学	(国大) 九州大学	(国大) 九州工業大学
官	(公財) 北九州産業学術推進機構	(公財) 北九州産業学術推進機構 (一社) 生き方のデザイン研究所	(公財) 北九州産業学術推進機構
進捗と実績	● 教育プログラム、認定資格制度を開発導入 ● 社内資格「口腔ケア認定士」を新設 ● 2019年11月で1,245名の口腔ケア認定士、上位資格である16名の主任口腔ケア認定士を育成 ● 誤嚥性肺炎発症率の低下	● 共同研究によりライフマップを開発 ● ライフマップ導入施設にて、このツールを用いたサービス提供を開始 ※ライフマップとは入居者のこれまでの「思い」とこれからの「願い」を利用者様と対話型で可視化していくツール	● 介護スタッフの行動センシングによる行動認識実証実験を実施 ● 実証実験の結果をもとに独自の介護記録アプリを開発
今後の目標	● 口腔ケア分野において、より質の高い ● サービス提供とQOL(生活の質)向上に繋がる取り組みを更に推進 ● 寄付講座として「高齢者支援学講座」を開始	● 弊社施設において、各機関が参画・連携し、革新的なイノベーション拠点の創出を行う ● ライフマップを全国に流通させることで、“人間らしい”ケア、生きがいきづくりを実現していく！	● 記録のデータ化が可能な施設を全拠点に広げる。 ● 介護記録＆行動認識アプリの商用化を目指す

2. 九州歯科大学：口腔ケア

なぜ、介護施設で口腔ケアに取り組むのか？

65歳以上の高齢者 死因の9.9%は肺炎

○誤嚥性肺炎予防としての口腔ケアが不十分なのではないか？

実際に施設をラウンドして課題を確認

- ・九州歯科大学とともに北九州市内5施設を巡回
- ・現場で介護職が行う口腔ケアの現状を把握



でも…

○当社の介護職員は、口腔ケアを「**やっている**」
「**できている**」という認識

分かったこと・改善すべき点

・介護職の口腔ケアに関する知識のなさ

口腔ケアの専門的な知識を学ぶ機会が少なく、磨いたつもりでも汚れが残っていることが認識できない

・介護職の口腔ケアに関する技術の未熟さ

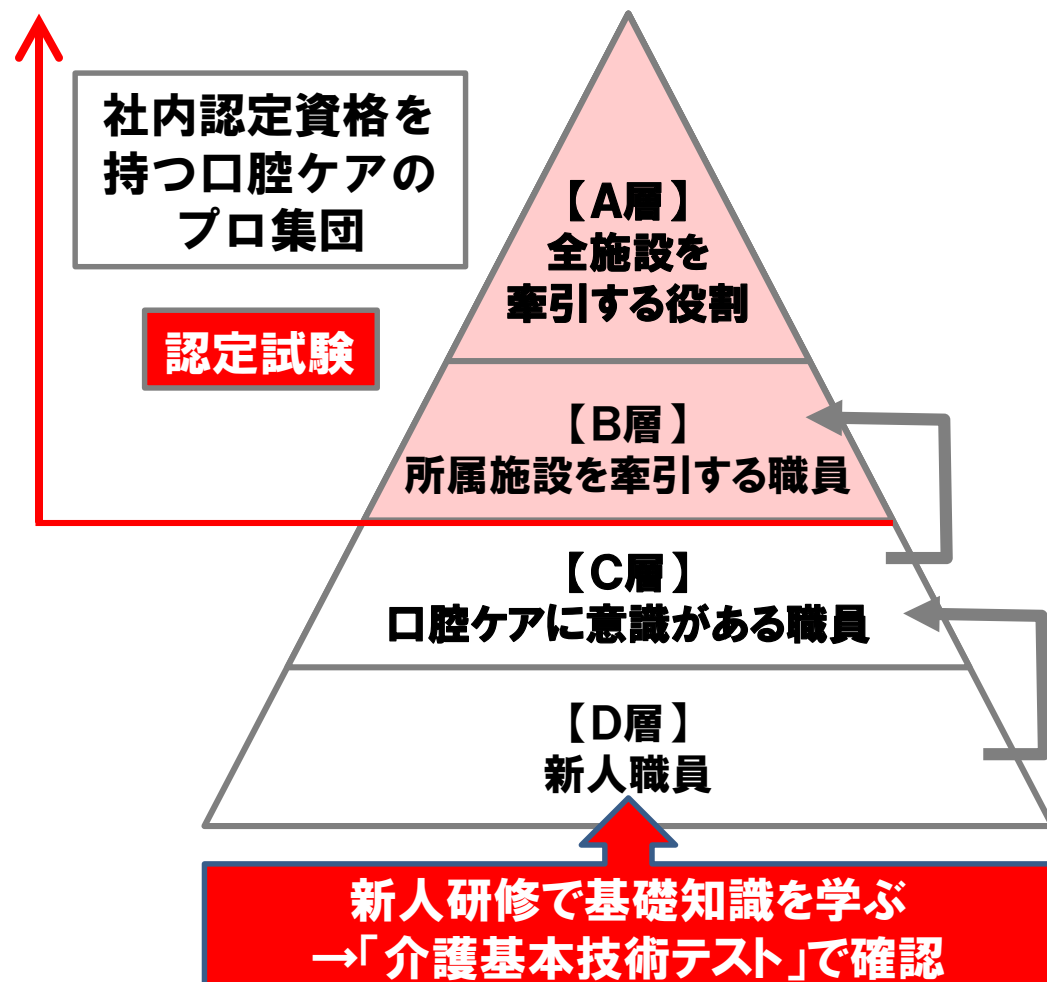
技術が未熟なため、口腔ケアに余計な時間がかかる

解決策

・社内認定制度(口腔ケア認定士)
を新設し**口腔ケアのプロ集団**
をつくる！

2. 九州歯科大学：口腔ケア

社内認定制度(口腔ケア認定士)の導入



■ 教育プログラム

- 6つのテーマ
 - 基本知識
 - 歯ブラシの使い方
 - スポンジブラシの使い方
 - 歯間ブラシの使い方
 - フロスの使い方
 - 入れ歯の取り扱い
- テキスト、動画を作成→配信

■ 社内認定制度(口腔ケア認定士)

- 対象：C層(約2,000名)
- 狙い：施設内で手本となり、C層を指導できる人材を育成
- 金銭的インセンティブ付与
- 試験：実技を撮影→動画で審査
- 職員のプライド向上
- 職員の定着率向上

2. 九州歯科大学：口腔ケア

社内認定制度(口腔ケア認定士)の現状

さわやか口腔ケア認定士 試験結果

2019年10月現在

【口腔ケア認定士の現状】

第10回試験までの口腔ケア認定士は
1,245名/合格率36.2%
平均合格者数125名

【主任口腔ケア認定士の現状】

2018年4月より上位資格の
「主任口腔ケア認定士」を新設
合格者は**16名**(26名受験)

回	受験者数	合格者数	合格率(%)
1	15	10	66.7
2	268	51	19.0
3	470	95	20.2
4	477	118	24.7
5	396	96	24.2
6	395	173	43.8
7	296	104	35.1
8	337	107	31.8
9	492	300	61.0
10	290	191	65.9
合計	3,436	1,245	36.2

2. 九州歯科大学：口腔ケア

口腔ケア認定士制度導入後の改善状況

【誤嚥性肺炎での入院の減少について】

2016年時点の既存施設を対象して検証

施設数:62施設 ベッド数:3,679床

※誤嚥性肺炎での年間累計入院数

2016年 484人 - 2018年 433人
= **51人**(減少)

【診療費削減について】

※誤嚥性肺炎の診療費平均 111万円/人

(国立国際医療研究センター病院:入院した際の医療費の概算例)

111万円 × 51人 = 5,661万円

年間**5,661万円**の診療費削減効果

肺炎・誤嚥性肺炎の入院人数

	2016年	2018年
施設数	62	62
ベッド数	3,679	3,679
年間 累計 肺炎入院人数	484	433
年間 1施設あたり 肺炎入院人数	7.81	6.98
平均 肺炎出現率(%)	1.10	0.98
入院減少人数	51 人/年	
医療費の設定	111 万円/人	
医療費の削減金額	5,661 万円/年	

2. 九州歯科大学：口腔ケア

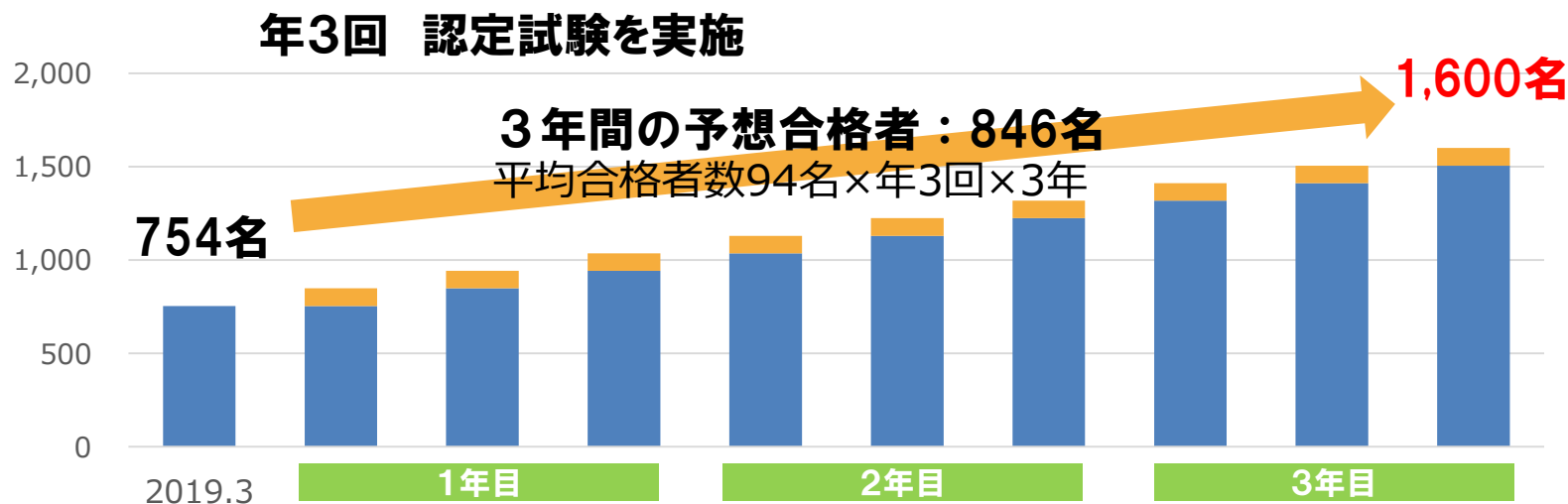
今後の展望

■ デザイン思考を用いたものづくり

- 点眼液タイプの洗口液
- 食欲増進タブレット
- 口腔ケア学習用VR動画(3D)



今後の予定

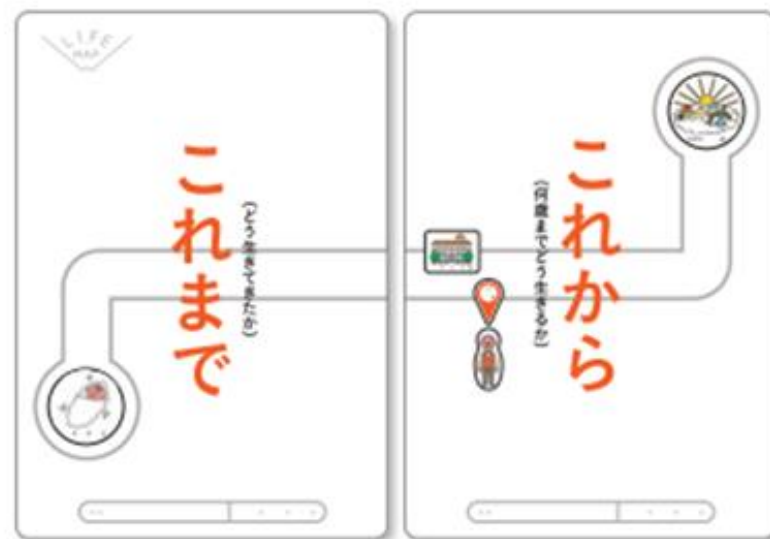


3. 九州大学:生きがいつくり

■ ライフマップとは

- **ライフマップ**は、介護施設入居者の「生活の質向上」をめざして、ウチヤマホールディングスと九州大学の共同研究から生まれました
- 入居者様が本当に望んでいることは、为什么呢？
- 入居者様のこれまでの「思い」とこれからの「願い」を対話型で可視化していくツールがライフマップです
- それをもとに入居者の生きがいにつながる実現可能な入居プランを作成することが可能となります

「これまで」と「これから」を可視化する対話型コミュニケーションツール。利用者の未来をひらく。ライフマップ



3. 九州大学:生きがいつくり

ライフマップとは

ライフマップは、コミュニケーションが難しいひとの「思い」を誰でも可視化できるようにするツール



3. 九州大学:生きがいつくり

取り組み事例 S様

■ ライフマップ実施以前

ご本人様

75歳女性。要介護4。
車酔いがひどくデイスサービスの
利用もできない。
食事摂取量も極端
に少ない。



カンファレンスの内容

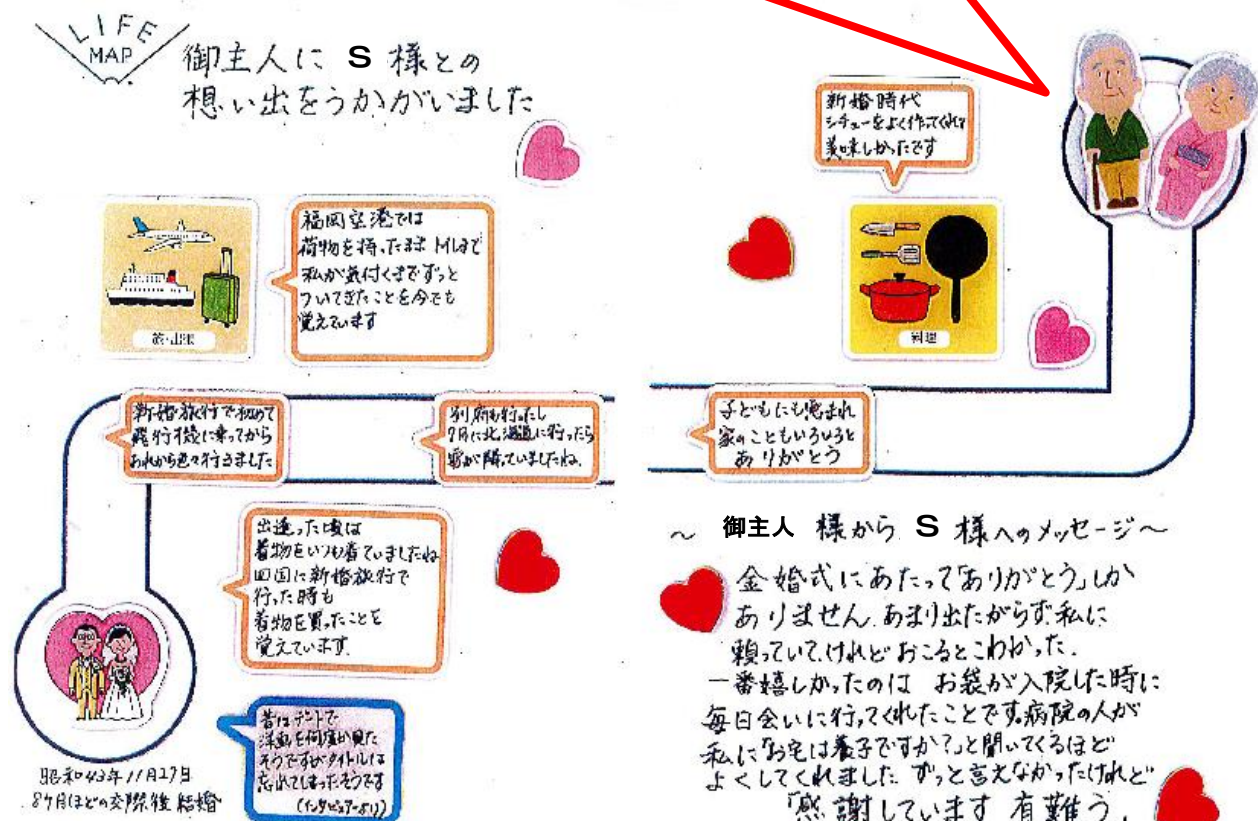
①食事が入らなくなった場合

ご本人の食思がある時に少しでも摂取。経管栄養は行わない。点滴も水分のみ。

②急変時について

救急搬送は行わず、当施設で
介護を希望。

施設で金婚式をあげたい！



24歳の時にお見合い結婚

3. 九州大学：生きがいくくり

金婚式当日：準備

事前準備に、S様にも手伝って頂く。手作りケーキの生クリームを何度も舐められる事もあり、笑顔での準備となる。



金婚式当日：セレモニー

他のご入居者様も多数出席。
BGMは結婚された昭和43年のヒットソングを流し、ご主人からは昔、S様が大好きだった曲を2曲とお花をプレゼント。
お二人で50年ぶりのケーキ入刀。



金婚式以後 笑顔と元気の復活！！

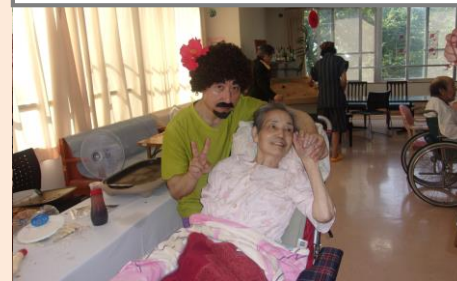
車椅子で生活するようになり、朝の体操にも参加されるようになる。その結果、食欲も増進。様々な行事に積極参加。車での外出レクリエーションも可能になる。



お花見レクに参加



夏祭りに参加



3. 九州大学：生きがいつくり

他の活用事例

福岡県：84歳女性

昔切り盛りした居酒屋をやりたい
みんなの喜ぶ顔が見たい

月一度営業のスナックを開店

愛知県：81歳女性

習字や珠算が得意で
他の人に教えてあげたい

書道教室を開講

福岡県：78歳男性

昔行きつけのラーメン店に行きたい

要介護度4から要介護度2に改善し
歩いてラーメン店に

今後の展望 全施設にライフマップを導入する

特定施設

ライフマップ対象施設	55施設(ベッド数3,814床)
研修実施済の施設	48施設(ベッド数3,356床)
導入施設	46施設(ベッド数3,055床)
利用済の入居者様	513名(16.7%)

※2019年12月末時点

3年後

全55施設への研修を完了
入居者様約2,100名に
ライフマップを提供

将来の展望

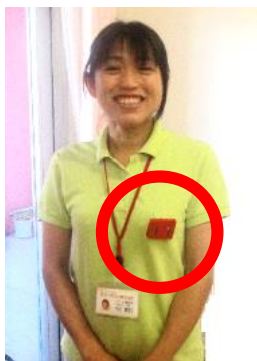
ライフマップは商品化(39,800円税抜)しており、今後はこのツールを全国に流通させることで、“人間らしい”ケア、生きがいつくりを実現していく！

4. 九州工業大学:IT技術の活用

スタッフの行動センシングによる行動認識

- ・介護、看護職員がスマートフォンを携帯し自身の**一日の業務タスクを記録**
- ・同時に、職員の胸に小型のセンサを取り付け、業務中の加速度等のデータを取得
- ・また、各居室・フロア等にセンサを設置し温度や照度等のデータを取得

九州工業大学・IDCFによってデータを解析



【結果】

記録業務が稼働総合トップ
(介護・看護業務の12.0%)

記録業務時間を半分【50%】に短縮できれば、
1日20名の職員の記録業務短縮で生まれる時間は
20人×0.96時間×50%
= 9.6時間

記録業務の効率化
による業務改善への期待

4. 九州工業大学:IT技術の活用

九州工業大学と共同で独自の介護記録アプリを開発

行動認識アプリに**介護記録機能**を追加



スマートフォン



タブレット

- ①詳細を記録する他、「カメラ」で写真を記録
- ②音声入力も可能
- ③複数の利用者様をまとめて登録できる

ケア記録 事業所名:さわやか海響館 2018年

居室:202 氏名:

日付	開始	ケアプラン	内容	記録者
2018/05/30	00:58		【夜間利用者対応】 種別: 巡視, 対応内容: 利用者の様子, <特記事項> 居室にて良眠される	大塚 湧貴
2018/05/30	01:07		【排泄】 排泄方法: トイレ, 排泄介助: 一部介助, 種類: 排尿,	大塚 湧貴

スマホ上で記録を入力し、ケア記録などの帳票はタブレットやPCで確認

各フロアのタブレットにて
職員間で帳票が共有できる

4. 九州工業大学:IT技術の活用

九州工業大学との行動認識 & 記録のシステム化を通して

- ① 1日当たりの**記録時間**を施設全体で**11.3時間削減**できる
- ② センサから取得したデータをもとに、**7行動70%以上**の精度で**行動認識**が可能
- ③ 次の日の**介護行動予測**も**9行動80%以上**の精度で可能
- ④ ケア記録の記載内容も平均して**1.5倍ほど増加**していた



- 前年度の結果から推察すると、介護記録のシステム化に伴い**介護記録時間**が手書きの時よりも**4割程度削減**できた
- 今後、行動認識技術により記録を自動化することで、介護・看護職員の大幅な業務改善・効率化が実現できる

4. 九州工業大学:IT技術の活用

今後の展望

九州工業大学との産学官連携により介護業界を革新

- ①施設全体の業務効率化
- ②各入居者様のQOLの向上
- ③職員の質向上によるサービスの質向上

今後の予定

記録のデータ化の導入対象施設:69施設(4,046床)

1年で9施設へ導入 ▶ 3年後**27施設**導入完了

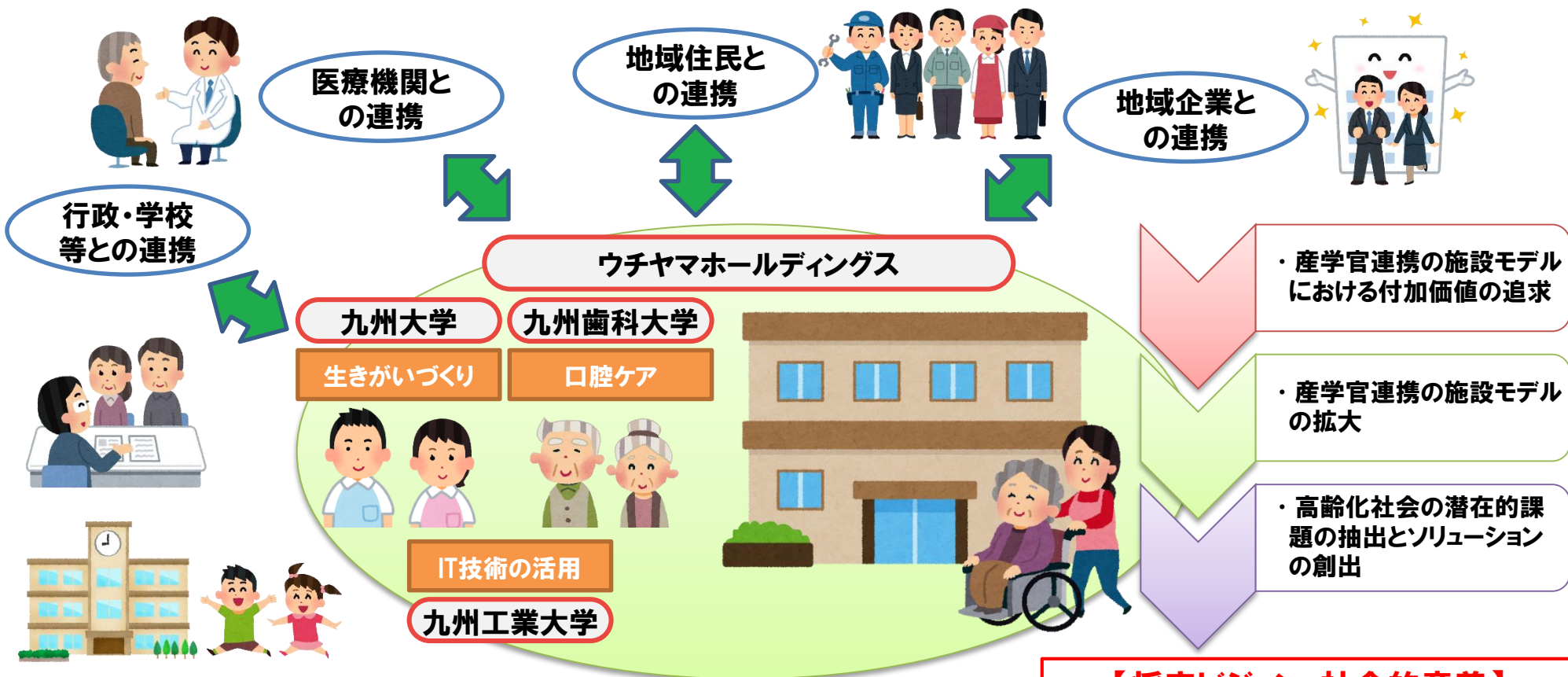
1施設完全運用まで4ヶ月を予定

※1ヶ月目→設置期間 2～4ヶ月目→運用・調整期間

将来の展望

介護記録 & 行動認識アプリの商用化を目指す

5. 産学官連携の施設モデル(まとめ)



【産学官連携の概要】

- ・ライフマップによる生きがいがづくりの提供
- ・口腔ケアの実施による、誤嚥性肺炎の予防
- ・IT技術の活用による記録業務の簡便化と直接介護サービスの充実

【目標とする成果】

- ・ライフマップを全国に流通させることで、“人間らしい”ケア、生きがいがづくりを実現！
- ・誤嚥性肺炎での入院者0(ゼロ)を目指す！
- ・介護記録＆行動認識アプリを流通させ、働きやすく住みやすい介護施設を広める！

【将来ビジョン:社会的意義】

- ・高齢者ひとりひとりが夢をもち、その実現に向けて活動することで、心身ともに健康な生涯をおくることができるような社会の実現。
- ・高齢化社会共通の課題解決と新たな需要の発見、それに伴うソリューションサービスの開発。

6. 介護事業における新規事業

職業訓練校の設立

2017年11月「外国人技能実習制度」改正

対象職種に介護職種等も加わり、より幅広い職種の技能実習生の受入が可能に



● 当社グループの取り組み

インドネシアにて現地の情報を豊富に有するPT.FUJINDO SERVIS INDONESIAと合併会社を設立し、日本企業へ優秀な人材を送り出す職業訓練校を2018年7月設立

● これまでの実績と予定(2019年12月時点)

2018年	10月	東京都	ホテル業	ベッドメイキングの職種に36名派遣
2019年	6月	茨城県・大阪府	クリーニング業	8名派遣
2019年	7月～	北海道等	農業	インターンシップ生27名に対する現地での日本語教育の提供
2019年	11月	福岡県	介護(当社)	インターンシップ生9名に対する現地での日本語教育の提供
2019年	11月	東京都・大阪府	ホテル業	ベッドメイキングの職種に30名派遣
2020年	1月	千葉県・埼玉県・栃木県	介護(当社)	17名派遣予定
2020年	1月	広島県	水産業	4名派遣予定
2020年	1月	北海道・長崎県	農業	インターンシップ生13名に対する現地での日本語教育の提供
2020年	2月	茨城県・大阪府	クリーニング業	8名派遣予定
2020年	2月	沖縄県	ホテル業	ベッドメイキングの職種に47名派遣予定

現在3校体制で派遣可能な実習生数の増加をはかっている

● 2018年7月 バリ島(定員:80名) ● 2019年7月 ジャワ島チルボン(定員:95名) ● 2019年7月 ジャワ島ジャカルタ(定員:95名)

ご清聴ありがとうございました





【参考資料】

1. 業績情報 ①要約損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	前期 (2018/3)	構成比 (%)	当期 (2019/3)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	26,402	100.0	27,209	100.0	103.1
売上原価	23,517	89.1	24,490	90.0	104.1
売上総利益	2,885	10.9	2,719	10.0	94.2
販売費及び一般管理費	1,693	6.4	1,693	6.2	100.0
営業利益	1,191	4.5	1,025	3.8	86.1
営業外収益	267	1.0	401	1.5	149.9
営業外費用	107	0.4	100	0.4	93.9
経常利益	1,352	5.1	1,326	4.9	98.1
特別利益	441	1.7	670	2.5	151.8
特別損失	552	2.1	423	1.6	76.6
税金等調整前当期純利益	1,240	4.7	1,573	5.8	126.8
法人税等	432	1.6	470	1.7	108.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	808	3.1	1,102	4.1	136.3

1. 業績情報 ②要約貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

資産の部				負債／純資産の部			
	2018/3 末	2019/3 末	増減額 (百万円)		2018/3 末	2019/3 末	増減額 (百万円)
流動資産	13,208	15,549	2,340	流動負債	6,470	6,756	286
現金及び預金	9,315	9,159	△ 155	短期借入金	751	357	△ 394
たな卸資産	1,057	3,309	2,252	1年以内返済予定の 長期借入金	2,300	2,673	372
固定資産	16,777	14,522	△ 2,254	固定負債	8,119	7,085	△ 1,033
有形固定資産	11,528	8,828	△ 2,700	長期借入金	6,549	5,612	△ 937
建物及び構築物（純額）	7,281	5,484	△ 1,797	負債合計	14,589	13,842	△ 747
土地	3,390	2,776	△ 613	（有利子負債）	10,505	9,529	△ 975
無形固定資産	77	62	△ 15	純資産合計	15,397	16,229	832
投資その他の資産	5,170	5,632	461	（自己資本比率）	51.3 %	54.0 %	2.7pt
				（ネットD/Eレシオ）	0.08倍	0.02倍	△0.06
資産合計	29,986	30,072	85	負債純資産合計	29,986	30,072	85

※1 有利子負債＝短期借入金+1年内返済予定の長期借入金+設備未払金+1年内償還予定の社債+リース債務+長期借入金+長期設備未払金+社債

※2 自己資本比率＝（株主資本+その他の包括利益累計額）／負債純資産合計

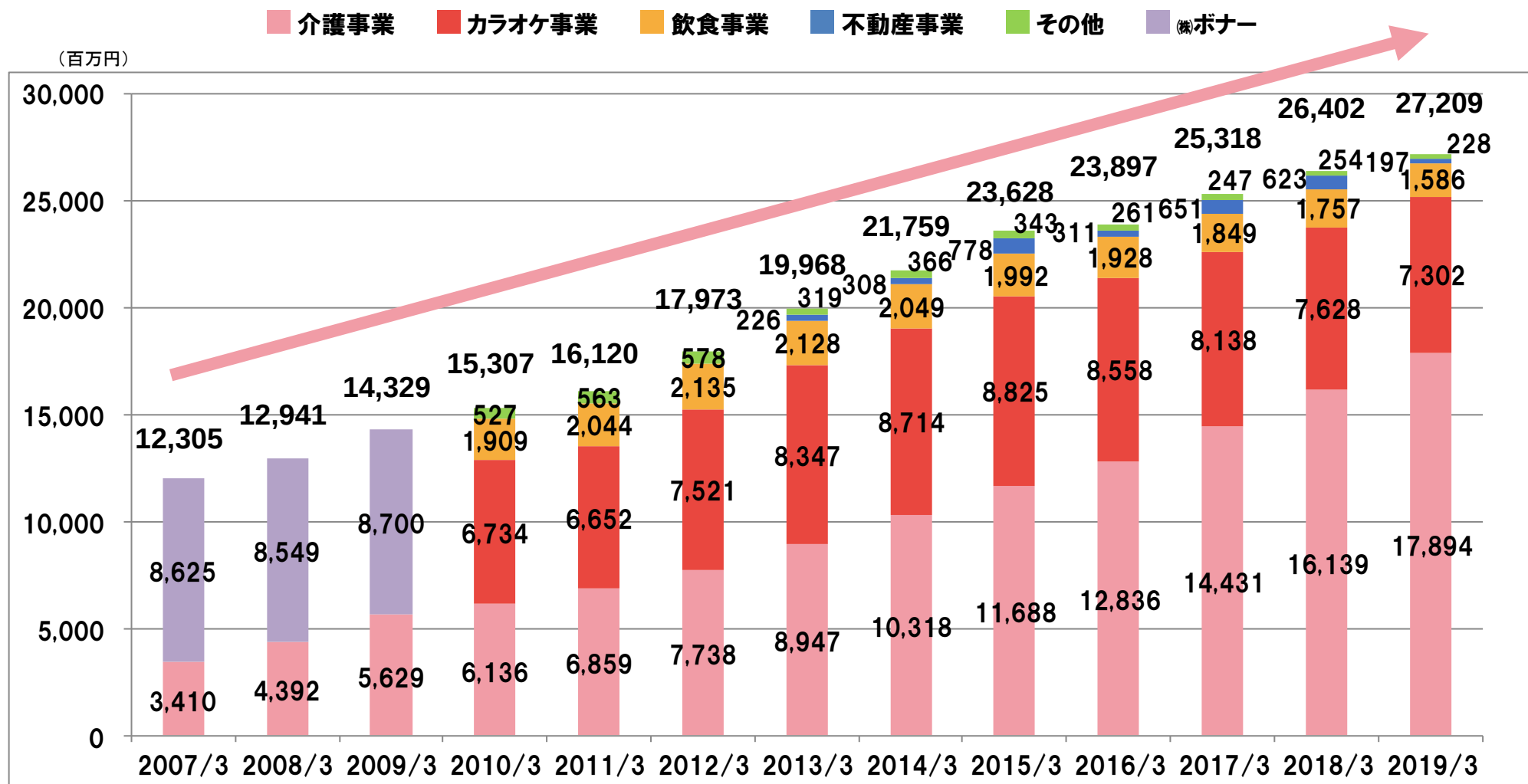
※3 ネットD/Eレシオ＝（有利子負債－現金及び預金）／純資産合計

1. 業績情報 ③要約キャッシュ・フロー計算書（連結）

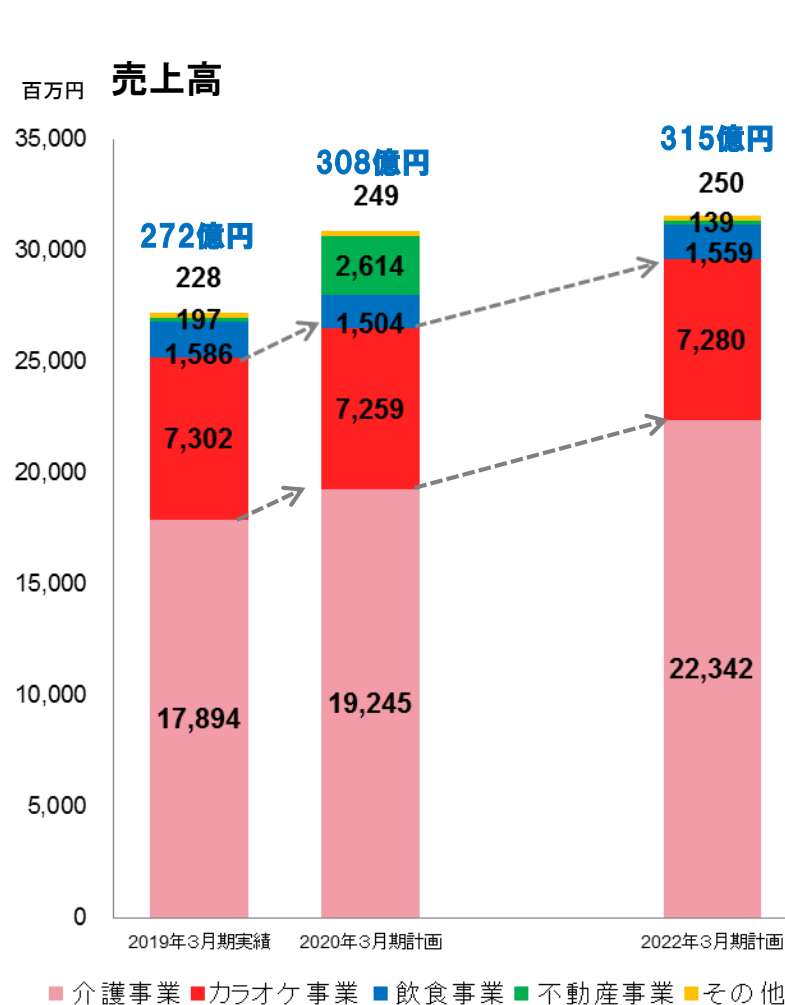
（単位：百万円）

	2018/3 4Q累計	2019/3 4Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,070	△ 317
税金等調整前当期純利益	1,240	1,573
減価償却費	1,025	939
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 321	1,366
有形固定資産の取得による支出	△ 2,446	△ 1,515
有形固定資産の売却による収入	2,464	3,583
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,686	△ 1,227
配当金の支払額	△ 193	△ 193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	65	△ 178
現金及び現金同等物の期首残高	8,969	9,034
現金及び現金同等物の期末残高	9,034	8,856

2. 事業別の売上高推移（連結）



3. 新中期経営計画の概要



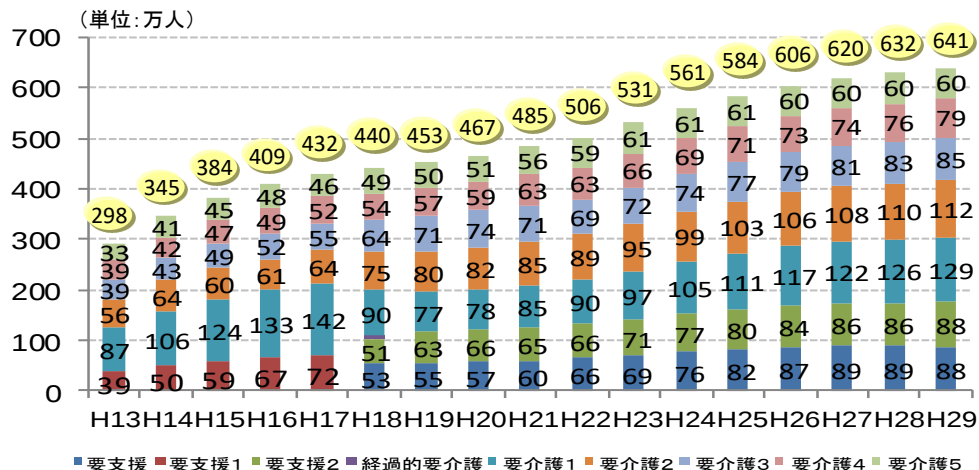
		(単位: 百万円)		
セグメント別		2019/3期実績	2020/3期計画	2022/3期計画
介護事業	売上高	17,894	19,245	22,342
	セグメント利益又は損失(△)	1,238	1,637	2,304
カラオケ事業	売上高	7,302	7,259	7,280
	セグメント利益又は損失(△)	880	874	707
飲食事業	売上高	1,586	1,504	1,559
	セグメント利益又は損失(△)	51	91	95

介護事業は3年間で24.9%の成長

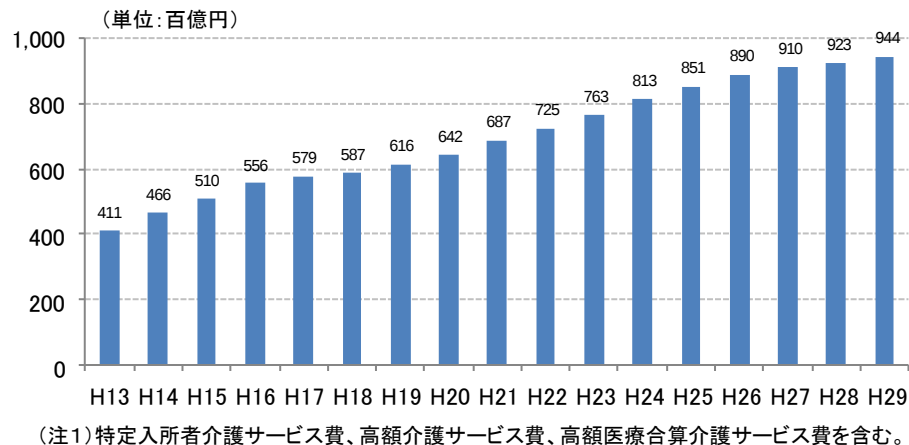
既存施設入居率90%以上・新規開設13施設

4. 業界動向 ①介護市場の動向(1)

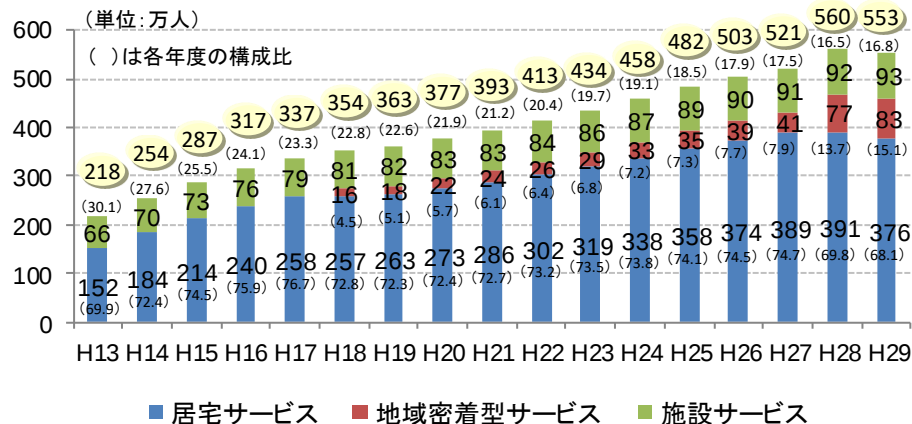
要介護(要支援)認定者数



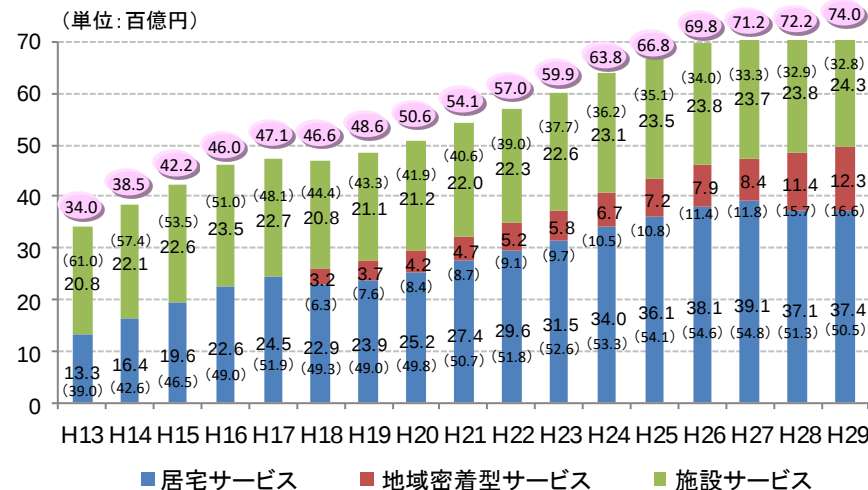
(参考1)年度別介護サービス給付費の推移



介護サービス受給者数(1ヶ月平均)



(参考2)年度別(居宅、地域密着、施設別)介護サービス給付費の推移



(注1) 各年度とも3月から2月サービス分の平均。ただし平成12年度は、4月から2月サービス分の平均。

(注2) 平成18年度の地域密着型サービスについては、4月から2月サービス分の平均。

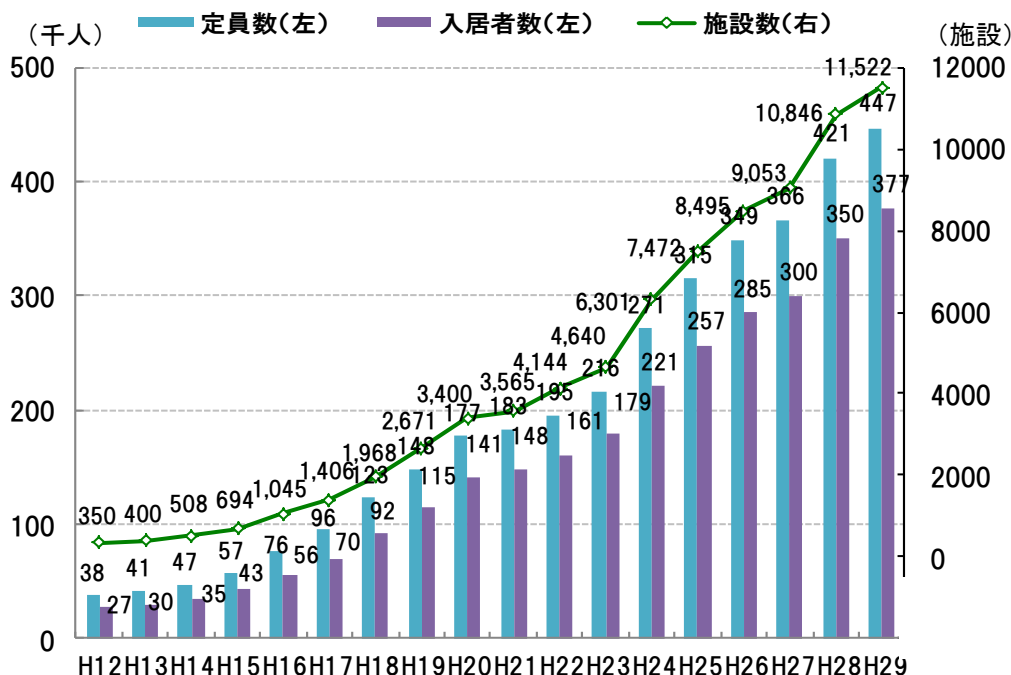
(注3) 受給者数は、居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス間の重複利用がある。

(出所) 厚生労働省「介護保険事業状況報告(平成29年度版)」※東日本大震災の影響により、H22はすべて福島県内5町1村の数値が含まれていない

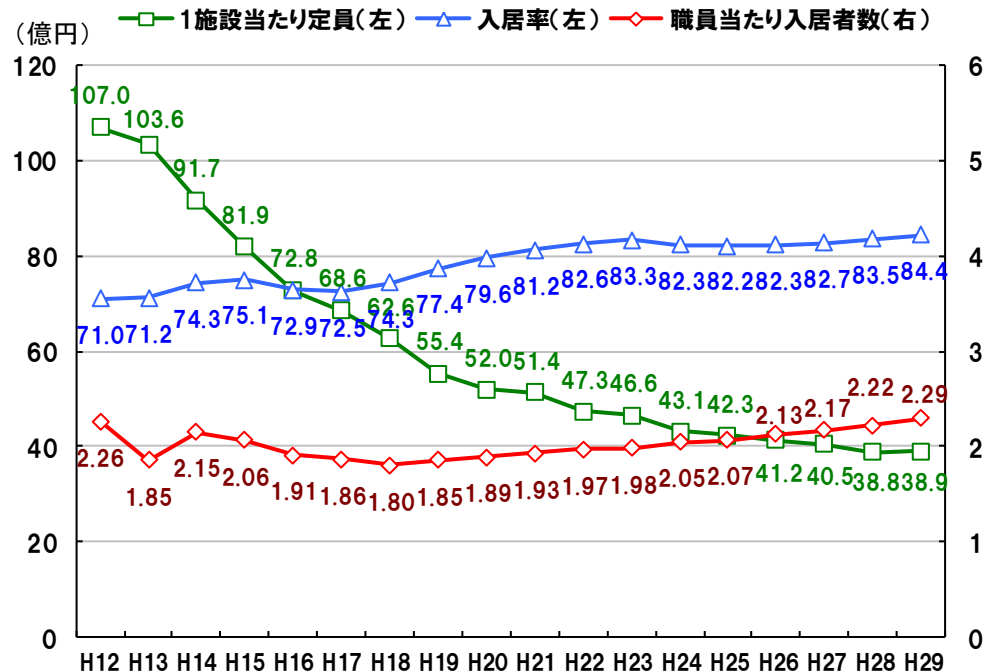
4. 業界動向 ①介護市場の動向(2)

介護保険法施行(2000年)後、
急拡大を続けてきた有料老人
ホーム市場は、引き続き堅調に拡大

施設規模は縮小傾向にある一方、
人員効率は緩やかに改善



※各年10月1日現在 ※職員数は常勤換算
(出所) 厚生労働省「平成29年度社会福祉施設等調査」



※職員当たり入居者数＝入居者数／常勤換算職員数
(出所) 厚生労働省「平成29年度社会福祉施設等調査」

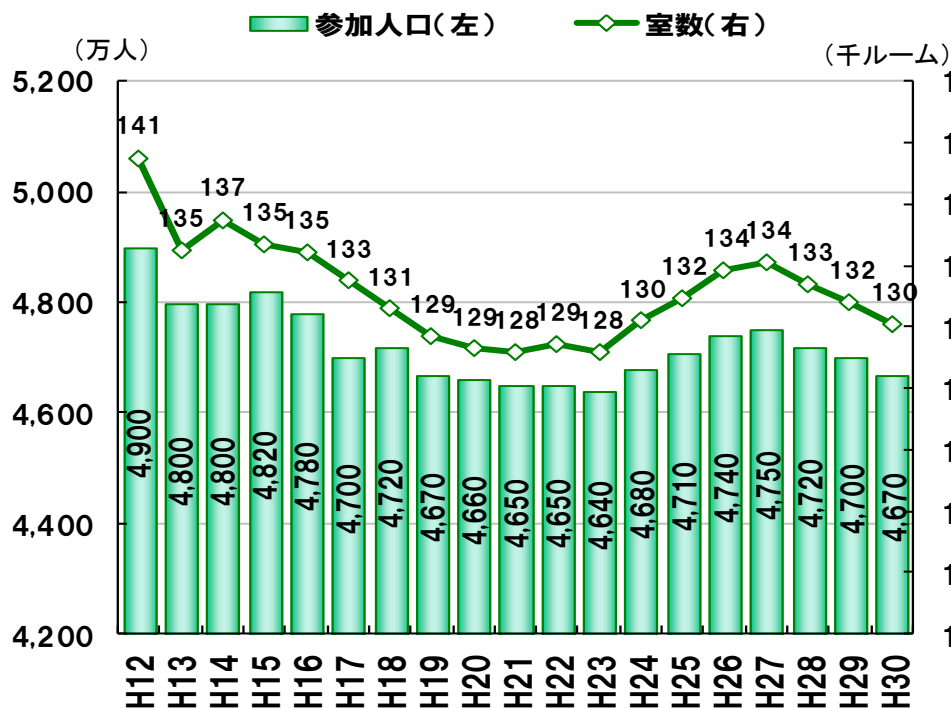
5. 業界動向 ①介護市場の動向(3)

	施設・事業所の概要	特定施設の指定の有無
		介護サービス提供主体
介護付 有料老人ホーム	介護が必要になっても、入居施設が提供する介護サービス等を利用しながら居住継続が可能。	○(特定施設)
		施設内の職員
住宅型 有料老人ホーム	生活支援等のサービスが付いた高齢者向けの居住施設。施設内に介護提供体制を整備する義務はない。	×(特定施設でない)
		外部の介護サービスを自身で選択
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	認知症など的高齢者が一般の住宅で地域社会に溶け込みながら生活することを目的とする。	
短期入所生活介護 (ショートステイ)	介護を受ける高齢者が短期間入所し、食事や入浴といった日常生活全般の介護、機能訓練などを提供。	
通所介護 (デイサービス)	在宅での介護を必要とされる高齢者を対象に入浴や体操・レクリエーションなどの各種サービスを提供し、自立を支援する。	
訪問介護 (ヘルパーサービス)	ホームヘルパーが自宅に伺って、介護を必要とされる方の日常生活の手伝いを行う。	
居宅介護支援 (ケアプラン作成)	どのような介護サービスをいつ、どのくらい利用するのが良いか、高齢者にとって最適となるケアプランを作成。	
小規模多機能型 居宅介護	「通い」を中心に、要介護者の様態や希望に応じて「訪問」や「泊まり」を柔軟に組み合わせ、介護度が中重度となっても在宅での生活が継続できるように支援していくサービス。	
訪問看護	医師の指示に基づき、看護師が家庭に訪問し、病状や療養生活を看護の専門家の目で見守り適切な判断に基づいたケアとアドバイスをを行う。	
福祉用具サービス	高齢者の身体状況や住宅環境に合わせ、自立支援をサポートするための福祉用具をレンタルおよび販売にて提供。	

4. 業界動向 ②カラオケ・飲食市場の動向

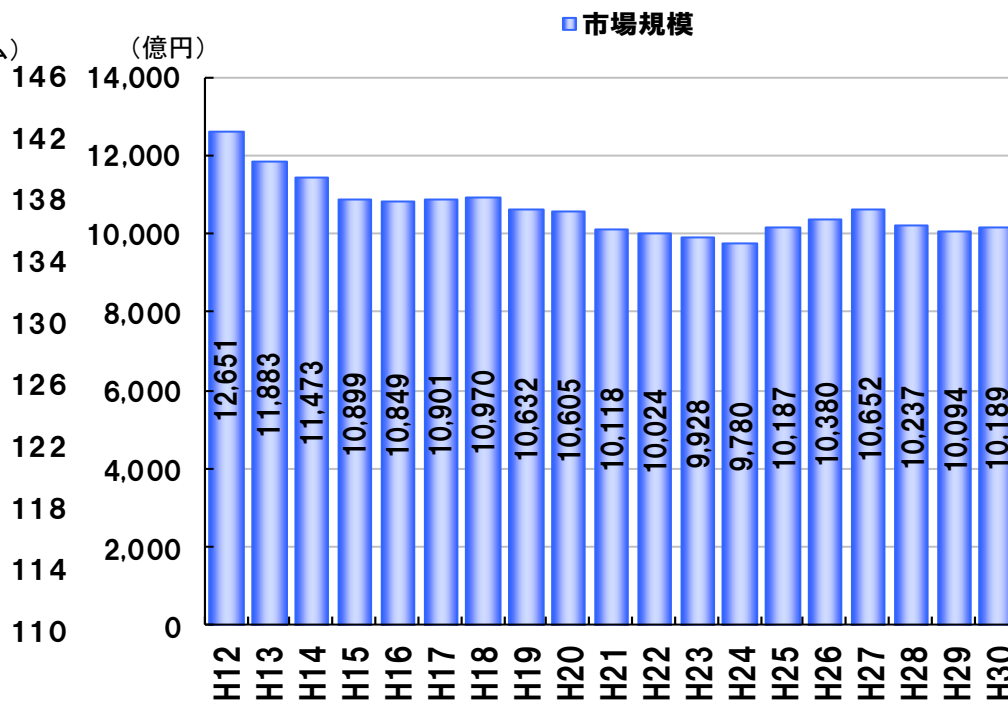
カラオケ市場・飲食市場ともに、市場規模の拡大は期待できない
⇒既存エリアでのドミナント化を推進

カラオケ市場の推移



(出所) 全国カラオケ事業者協会「カラオケ白書2019」

居酒屋・ビヤホール等市場の推移



(出所) 公益財団法人 食の安全・安心財団
「外食産業市場規模推移」